

令和4年度 公民科  
 教科名等 政治経済

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
政治・経済	政治・経済	3		2	自由選択	2 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	講義・グループワーク・演習・鑑賞
教科書	高等学校 改訂版 政治・経済，第一学習社
使用教材等	政治経済資料2022，とうほう ニューコンパスノート政治経済2022，とうほう

科目の目標・内容等

学習目標	政治や経済に関わる制度や原理的仕組みについて理解し、現実の政治・経済事象に関心を寄せ、客観的理解及び主権者として主体的判断ができるようにする。
学習における留意点	知識・理解を重視するとともに、主権者としての主体的な判断力が磨けるように現実の政治・経済。社会問題に関心を向けさせる。選択受講者として、より深い理解を目指す。
予習・復習	予習は、とうほう「ニューコンパスノート」を自力で埋め、教科書に目を通す。復習は、授業時に取ったトートを中心に教科書・「コンパスノート」・資料集を読み返し、「コンパスノート」の「用語チェック」により自分の理解・記憶を確認する。
評価方法	定期考査・平常点（小テスト・レポート・授業の取り組み等）・提出課題等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	・民主政治の基本原則と日本国憲法 ・現代の国際政治と日本	・民主政治の基本原則について歴史を踏まへて学ぶとともに、日本国憲法の三大基本原則や、統治機構と地方自治、選挙制度などについて深く考えさせる。 ・第二次大戦後の国際関係、国連の仕組みや課題、民族問題や領土問題について深く考えさせる。	政治についての基本原則や基本原則の解明に関心をもち、現実の政治現象をも深く理解しようとする意欲を持って取り組み、定期考査等でその成果を示せたか。課題や授業に主体的に取り組んだか。
2	・現代経済の仕組みと特質 ・国民経済と国際経済	・三経済主体と経済活動について考察させ、市場経済の機能、金融・財政政策、中小企業と農業、消費者、労働問題、社会保障、環境問題等について深く考えさせる。 ・貿易と国際収支、国際経済機関の役割、地域経済統合、何ぼく問題などについて深く考えさせる。	経済についての基本原則や基本原則の解明に関心をもち、現実の経済現象をも深く理解しようとする意欲を持って取り組み、定期考査等でその成果を示せたか。課題や授業に主体的に取り組んだか。
3	現代社会の諸問題	・社会保障の課題、格差問題、農業・食料問題、資源・エネルギー・環境問題等について、テーマを設定して考えさせる。	現代社会の諸問題に関心をもち、深く理解しようとする意欲を持って取り組み、定期考査等でその成果を示したか。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。